

いまよりの風

令和6年(2024年)7月26日発行

学校通信 第109号

北海道今金高等養護学校

〒049-4304

瀬棚郡今金町字今金 454-1

TEL 0137-82-3121 FAX 0137-82-3092



より「生徒主体、自分たちでつくる」を大切に

校長

飯出 広行

本日、令和6年度第1学期の終業式を迎えることができたことを、大変うれしく思います。

1学期は、始業式・入学式に始まり、新入生が初めて全校で顔を合わせる対面式、2学年の9日間の現場実習、1学年の職場見学、3学年の東京方面への見学旅行、2学年の宿泊研修、全校行事の体育祭、寄宿舎のサマーフェスティバル等、ほぼ計画通りに実施できました。

振り返ってみますと、私は始業式で3年生には「最高学年として、本校の良き伝統を受け継いでいく使命があります」と、2年生には「学校を中心として存分に力を発揮してほしいと思います」と話しました。そして、1年生には入学式で、「本校での規律のある中にも楽しく充実した学校生活を送ってほしいと思います」という話をしました。いずれの学年の生徒も、全ての教育活動において、その達成に向けて取り組んでくれたと思います。

本校の良き伝統とは、「どんな状況や環境でもベストを尽くす、最後までやりぬく」姿勢です。また、当たり前のことを当たり前に徹底的に行うことができる「凡事徹底」です。3年生を中心に全校生徒が意識して取り組んでくれたと思います。

また、今学期は例年以上に、「生徒主体、自分たちでつくる」活動がありました。3年生の見学旅行、全校行事の体育祭、寄宿舎サマーフェスティバルは、自分たちで考え、判断し、決定し、行動するといった主体的で、自治的な活動となりました。これらは、生徒個々の将来の社会生活を見据えたものであり、必ず必要となる能力の育成につながるものです。

特に体育祭は、競技内容を変更したり、競技の準備や後片付けも生徒たちが行ったりと、例年以上に「生徒主体の、自分たちでつくる体育祭」を目指しました。生徒たち自身が、動き、考え、相談しなければならませんでした。ですので、生徒たちの多くの声が聞こえてきました。学年を超えて応援する声、教え合う声、相談する声、息を合わせる声等々です。正に、「生徒主体の、自分たちでつくる体育祭」となりました。全校生徒一人一人の頑張りがみられた1学期でした。引き続き

2学期も更なるパワーアップを目指していきましょう。保護者の皆様、地域及び関係機関の方々、

2学期も引き続き本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

学校運営協議会

6月5日（水）に令和6年度第1回学校運営協議会を開催いたしました。今年度新たに、今金町校長会会長の佐々木弘司様、今金町教育委員会事務局長の早坂靖様のお二人を迎え、15名の委員で構成し進めて参ります。学校が抱える課題は、学校だけで解決することは難しく、例えば教育活動の拡充や危機管理体制等、地域との連携は欠かせません。複雑化・多様化する学校の課題に対し、このコミュニティースクールの組織を最大限機能させて、生徒の豊かな学びを実現し、教員が真に生徒に向き合い、働きがいのある職場とすることを目指していきたいと考えます。

協議会は、校長から「令和6年度学校経営方針・今金高等養護学校グランドデザイン」を説明しました。委員の質疑では職員のメンタルヘルスの対応やICTの活用についての質問が出され、校長からの応答が行われました。その後、今年度の校長の学校経営方針の承認については、全員一致で承認をいただきました。

委員による意見交流では、教員採用試験の受験者数が年々減ってきており、教員に採用されても早期退職するなど、若手教員不足が深刻化しています。そのような現状の中、若い教員をいかに育てていくかが、学校に課せられています。中堅教諭やベテラン教諭が若い教員たちの迷いや悩み等の相談を受け、職場内に協働性や同僚性を育て、若い先生たちを育ててほしいこと等が話題となりました。

今年度、コミュニティースクールの皆様と共に、地域に根ざした特色ある学校教育の創造～共学・共創・共生～の基本理念の具現化に取り組んで参ります。

次回は10月～11月に予定しております。内容は3分科会（「学校経営・教育活動連携部会」「特別支援教育地域推進部会」「地域就労・生活連携部会」）に分かれての熟議となります。

会 長：細谷 一博 様（北海道教育大学函館校教授）

副 会 長：松村 留美 様（北海道今金高等養護学校 PTA 会長）



飯出校長先生からの挨拶



活発な意見交換の様子

体育祭

6月14日（金）に令和6年度体育祭が実施されました。心配された天候でしたが、競技中は雨が降ることがなく無事に終わることができました。今年度は、学年種目から紅白競技にかわり、5色綱引きや大縄跳びを行いました。3年生を中心にチーム一丸となって取り組みました。保護者の皆様や来賓の皆様、地域の皆様が見守る中、今年は白組が優勝、紅組が準優勝で幕を閉じました。

お忙しい中足を運んでくださり、ありがとうございました。



優勝 白組



準優勝 紅組



100メートル走



五色綱引き



よさこいソーラン



大縄跳び

今養マルシェのご案内

本校農業科では、毎週水曜日10:00～12:00くらいまで農場開放を行っています。温室で花の苗や鉢その他の販売を行っています。町民の皆様、お気軽に本校農場にお越し下さい。

なお、授業や行事で職員・生徒が不在のときは対応出来ない場合がありますのでご了承下さい。また、季節によっては販売できる花がない場合もあります。その点についても合わせてご了承下さい。

スポーツ部サッカー大会

第23回チャレンジドサッカー大会が6月9日（日）に栗山町ふじスポーツ広場で行われました。この大会は、新チームとなり初めての大会で6月22日（土）秋田県で行われる「障がい者スポーツ大会 北海道・東北ブロック大会」に向けた準備と位置付け、道内の養護学校等12チームが参加しました。

初戦は「千歳高等支援学校」と「札幌高等養護学校」の合同チームと対戦し1-3で敗れ、2戦目は交流戦となり「札幌あいの里高等支援学校」と対戦。残念ながら0-5と敗れてしまいましたが、生徒の特徴やスキルを再確認する上で大変良い大会となりました。



第23回全国障がい者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選が6月22日（土）～23日（日）2日間、秋田スポーツ PLUS・ASP スタジアムで行われ、札幌市、仙台市、宮城県、秋田県、岩手県、北海道と全6チームが参加しました。

初戦のグラウンドは立派なスタジアムで、生徒にとっては大変良い環境の中で試合をすることができました。また、当日の気温は28℃と蒸し暑く感じる中で、昨年と同じ「仙台市」と対戦し0-15で敗れてしまいました。（去年は3-6）

2戦目は交流戦となり、宮城県と対戦し9-1で勝利することができました。この大会には4年前から出場していますが、初めて1勝することができました。長期間にわたって練習に取り組んできた生徒は、1勝の重みを感じつつ秋田県を後にしました。



8月・9月の行事予定

8/26（月）	・始業式 ・二計測
9/2（月）	・3年生校内実習、現場実習（～10/4）
4（水）	・1年生作業強化日
9（月）	・1年生現場実習（～13日）
10（火）	・2年生作業強化日（～12日）
20（金）	・今金町秋祭り
24（月）	・オープンウィーク（～26日）
27（金）	・保護者懇談週間（～10/11）

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

- ・いじめられている...
- ・学校に行きたいのに行けない...
- ・誰かに聞いてほしい...

そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談
0120-3882-56
（無料、毎日24時間対応）

●メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。